

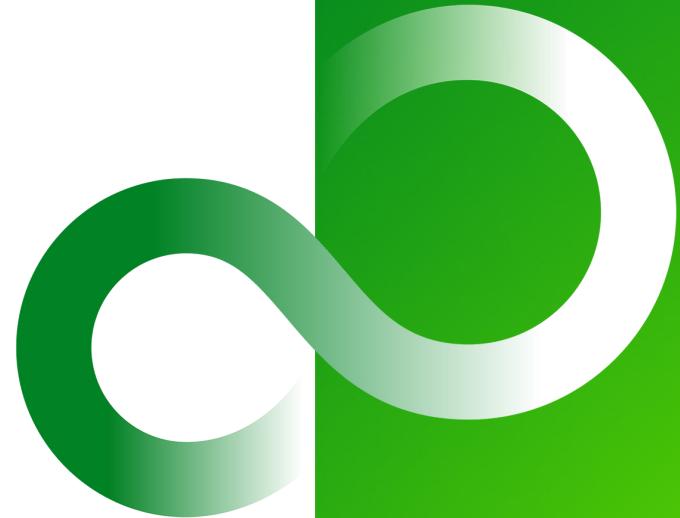
モダナイゼーションにおける 文字資産の移行 ～ポイントとご提案～

2023年9月

富士通株式会社

【資料サマリ】

システムのモダナイズにおいては文字資産の移行が必要だが、移行の難易度はシステムの性質によって異なる。
本資料では難易度の高い、厳密な字形表現を必要とするシステムでの移行について事例ベースでご紹介。



概要：文字資産の移行



移行対象は、①システムデータ ②データを表現している文字セット。
字形に厳密なシステムは、ミドルウェアの導入だけでは移行が困難。

外字セット	
	ない or 少量しかない(1880字以下)
内字セット	<p>単純移行可能。移行先に全文字がある</p> <p>①データ : ミドルでコード変換して移行 ②文字セット : シフトJIS。外字はミドルで移行</p> <p>ミドルのみで 移行可能</p> <p>次頁以降で解説 ➔</p> <p>ミドルのみでは 移行困難</p>
	<p>単純移行不可。移行先にない文字の外字化や縮退変換が必要</p> <p>①データ : 移行先にない文字の変換先を個々に定義し、ミドルで移行 ②文字セット : Unicode/JIS2004。不足外字を追加作成し、ミドルで移行</p>

顧客氏名を正しく表現する必要があるシステム等

事例：新しい規格の文字セットへの移行

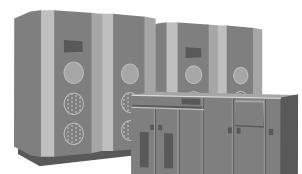
FUJITSU

メインフレームのJEFをオープンなJIS2004へ移行するシーンでは、規格違いによる字形差を許容するか、外字化し移行するか、判定が必要。

シーン

メインフレームシステムのオープン化

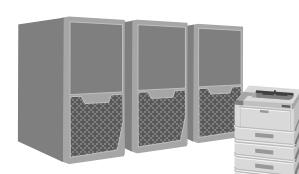
メインフレームで構築された顧客管理システムを、Windowsでオープン化。文字は、JIS一二三四水準/補助漢字を収録した「JIS2004」が選ばれる。



業務アプリ JEF

メインフレームシステム

システムのオープン化

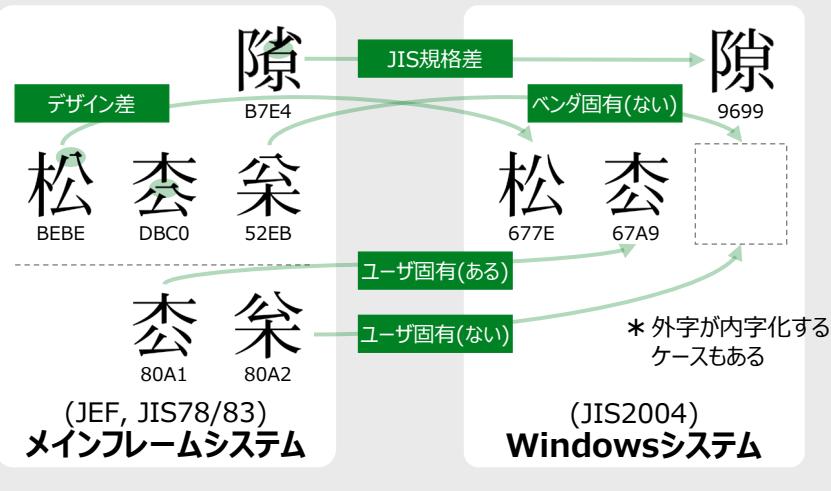


業務アプリ JIS2004

Windowsシステム

問題

規格違いによる字形差を許容? 外字化?



事例：外字が使えない文字セットへの移行

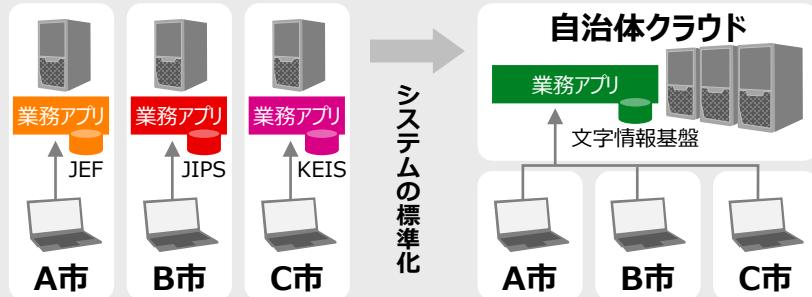
FUJITSU

文字情報基盤(豊富な異体字,原則外字不使用)へ移行するシーンでは、字形だけでなく、文字のルーツ等を活用した、高度な対応付けが必要。

シーン

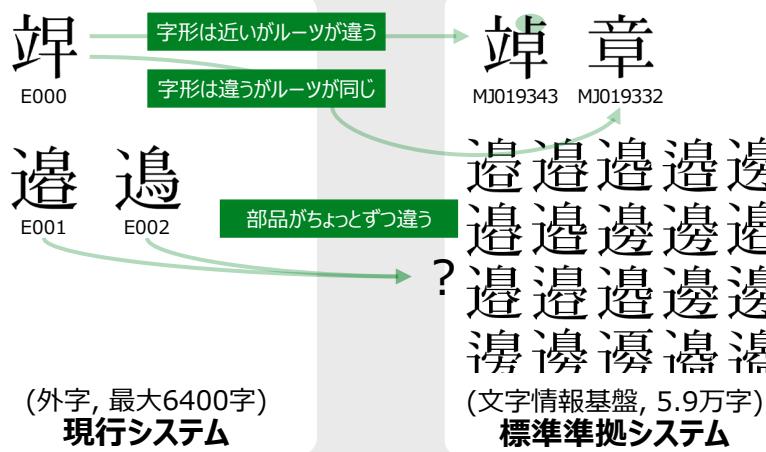
自治体業務システムの標準化政策

団体毎に異なる基幹システムの仕様を標準化し、クラウドによる共同利用を進める政策。文字は、住民氏名漢字を多く収録した「文字情報基盤」で標準化する計画。



問題

字形の類似度だけでは対応付けられない



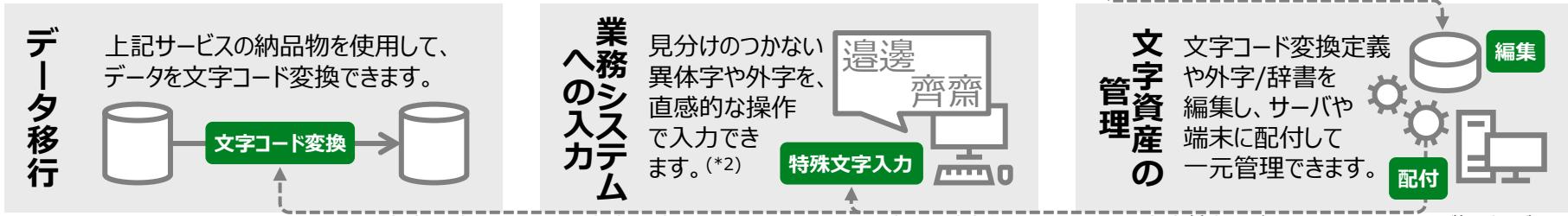
提案：文字資産の移行/運用を支援する商品

FUJITSU

外字環境統合サービス：専門スタッフが文字同定作業(*1)を代行。



Interstage Charset Manager：システムの移行から運用まで支援。



Thank you

